

トリプル脱臭



約125℃
高温クリーニングで
油のニオイまで
分解

STEP 1

気になるニオイを脱臭。

金属酸化触媒ハニカムフィルターが空気中の酸素を使って強力脱臭。さらに、ヒーターの加熱作用により油のニオイまでも徹底的に脱臭します。フィルターの脱臭性能を約24時間ごとに回復させる「脱臭フィルターオートクリーン」機能も搭載。

脱臭フィルターオートクリーン中は、脱臭フィルターオートクリーンランプが点灯し、送風を停止します。脱臭フィルターオートクリーン運転中は、内部のフィルターを加熱するため、本体が温かくなることがあります。また、脱臭フィルターオートクリーン運転終了前後には、一時的に温かい風や加熱臭が出ますが、異常ではありません。

STEP 2

わずかに残ったニオイも脱臭。

「オゾンユニット」で高濃度オゾン*を生成。さらに、オゾン分子から「酸素ラジカル」を発生させてニオイを無臭分子などに分解。
*余分なオゾンは分解されます。

STEP 3

室内に染みついたニオイも強力脱臭。*

放出する消臭成分(低濃度オゾン)が家具や壁紙に染みついたニオイを分解。カーテン・ソファなどの布製品に付着したニオイも脱臭。

タバコのニオイ^{※2}
最速約3分でスピード脱臭^{※3}

ペットのニオイ^{※7}
最速約6分でスピード脱臭^{※4}

(イメージ)

うるおいカセット

ビタミンC誘導体を放出^{※5}

清風がうるおいカセットを通過する際に、清風中の水分にビタミンC誘導体(うるおい成分)が溶け込みます。

ビタミンC誘導体とは…
ビタミンCは強力な抗酸化作用がありますが、そのままのビタミンCは不安定で分子構造が壊れやすいため、浸透しやすいように合成された化合物です。



交換用うるおいカセット

HDS-UC1
本体希望小売価格5,000円(税別)
交換の目安: 約3年
(1日10時間として、
ご家庭での使用状況により、
交換の目安は異なります。)



除菌^{※8}

+ カテキン抗菌^{※10}

フィルター + 放出(プラズマイオン)・吸引(オゾン)

フィルター

プラズマイオン

放出

お部屋の中の浮遊ウイルスも抑制^{※9}

プラズマイオン

約40,000^{※11}

集じん用カテキンフィルター

カテキン 抗菌フィルター^{※10}

オゾン

吸引

ユニット内にオゾンを発生させ、ユニット内においてオゾンで脱臭と除菌を行います。また、ユニット内で残ったオゾンは放出される際にユニット内の“触媒フィルター”により過され、最大約0.03ppmの低濃度オゾンとして放出される仕組みです。

(イメージ)

経済性

フィルターの交換不要^{※6} ^{※7}

「脱臭フィルターオートクリーン」の再生力と、水洗い可能な「プレフィルター」と「カテキンフィルター(集じんフィルター)」が、高性能プラズマイオン脱臭機の性能を保ちます。

自動再生

脱臭フィルター オートクリーンユニット

(金属酸化触媒
ハニカム
フィルター &
ヒーター
ユニット)

水洗い対応

プレフィルター & カテキンフィルター



※1. オゾンのニオイが感じられる場合があります。※2. タバコの有害物質(一酸化炭素等)は除去できません。※3. タバコ臭の場合(当社調べ) 8畳の部屋でタバコ1本喫煙後、臭気強度が1下がるまでの減衰時間。(官能試験による判定) ※4. ペット臭としてアンモニアを使用(当社調べ) 8畳の部屋でアンモニアを放散後、臭気強度が1下がるまでの減衰時間。(官能試験による判定) ※5. 室温25℃、湿度55%で強運転を行い、吹き出し空気に含まれるビタミンC誘導体の濃度を測定。※6. 日本電機工業規格JEM1467に準じて10年分の臭気を吸わせた後、1㎡チャンバー内にてアンモニアの30分間除去率を測定。90%以上の除去率。※7. 1ヶ月に1度の掃除機でのお手入れと、1年に1度の水洗いが目安です。(ご家庭での使用状況により、お手入れの頻度は異なります。また、使用状況によっては交換が必要な場合があります。) ※8. 試験機関: 一般財団法人 北里環境科学センター。試験条件: 25㎡チャンバー(密閉空間)内に細菌(1種類)を浮遊させ、脱臭機を急速運転。経時的にチャンバー内の浮遊細菌を捕

集し、細菌数を測定。試験結果: 60分で99%減少。報告書番号: 北生発2017_0057号 ※9. 試験機関: 一般財団法人 日本食品分析センター。試験方法: 25㎡の試験空間で日本電機工業規格(JEM1467)の性能評価試験にて実施。試験対象: ウイルス(1種類)を浮遊させ、脱臭機を急速運転。試験結果: 90分で99%減少。報告書番号: 第17029991001-0201号 ※10. 財団法人日本化学繊維検査協会 生物試験センターにて、菌液吸収法(JIS L 1902)により測定。18時間培養で25,000個が20個以下(カテキンフィルター)、同じく約20,000個が約25,000,000個(綿標準白布) 証明書番号 ck-09-043985-2 ※11. 高性能プラズマイオン脱臭機を20畳の部屋の壁際に置いて、風量最大運転時に中央付近で測定した空中に吹き出される1㎡あたりのイオンの個数の目安です。●タバコや焼き肉など強いニオイが発生する時にご使用されると、吹き出し口からニオイとして、放出される場合があります。そのような時は、お部屋の換気と兼用していただくことをお勧めします。